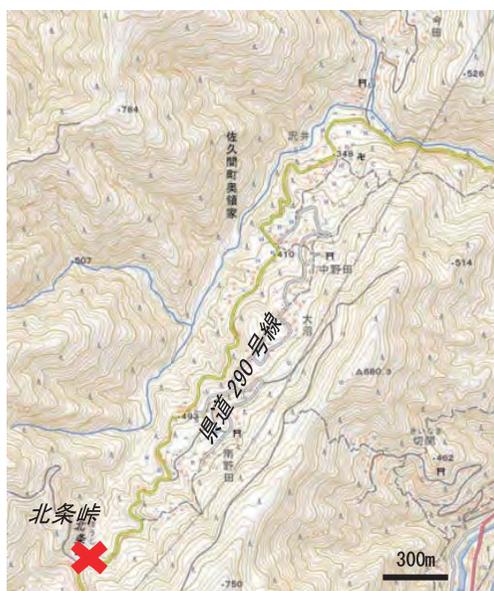
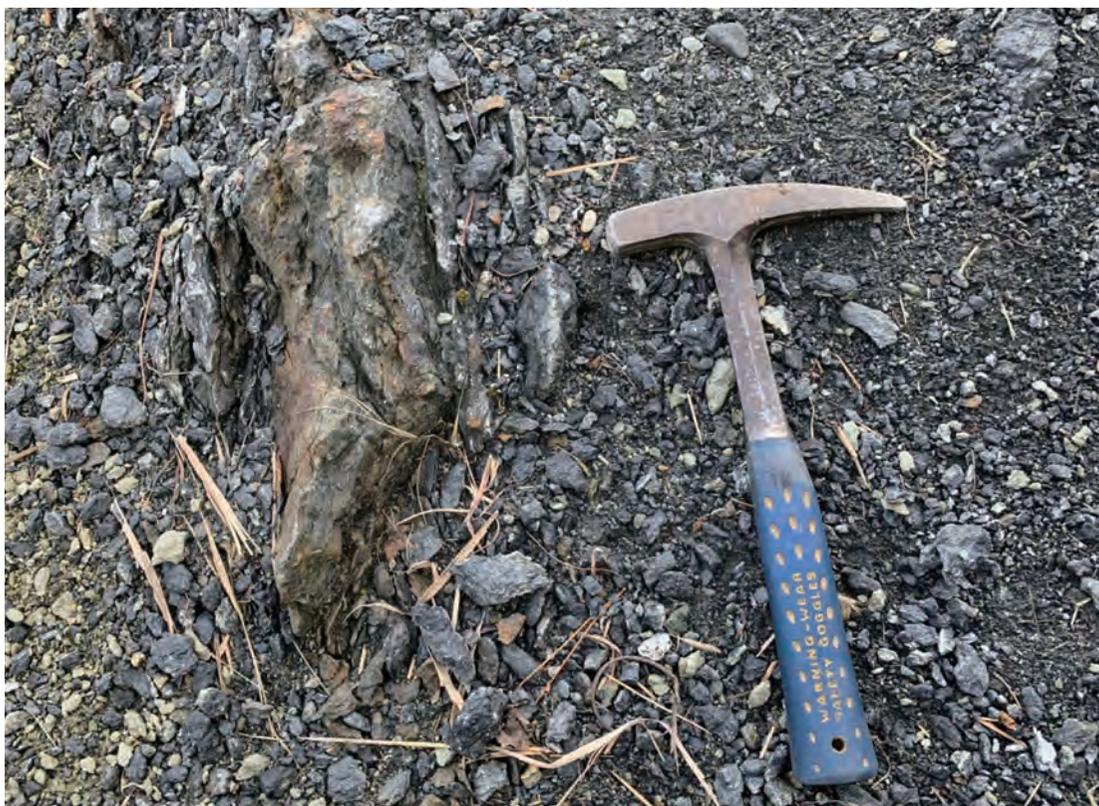


W032 中央構造線の断層角礫(静岡県GEO
DATA(25)特集：地学散歩(104))

メタデータ	言語: ja 出版者: 静岡県地学会 公開日: 2023-01-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 楠, 賢司, 三須, 寛希 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00029298

W032 中央構造線の断層角礫



国土地理院 地理院地図 (電子国土Web)

中央構造線は、関東から九州にまで続く日本列島最大の断層である。この大断層は静岡県北西部に位置する佐久間町と水窪町を北東から北北東走行で横切っている。

佐久間町の佐久間地区と城西地区を結ぶ県道 290 号線は、中央構造線に沿って平行に開通している。この県道にある北条（ホウジ）峠には民俗文化伝承館が建てられており、建物の北東側において写真のような中央構造線の断層運動によって三波川帯の黒色片岩が破碎された断層角礫を観察できる。その他、建物の南東側において三波川帯の断層粘土、北側の林道において領家帯の珪質及び泥質片麻岩を観察できる。更に建物南東に隣接する庭には、周辺地域の地質解説板と岩石標本 20 点が併設されている。なお北条峠は、「ホウジ峠の中央構造線」として 1994 年 3 月 25 日に県指定天然記念物に指定された。(楠 賢司・三須寛希)